

青森県では、誰もが住み慣れた地域で安んじて健やかに暮らすことのできる社会を目指し、全国に先駆けて「保健・医療・福祉包括ケアシステム」の構築を推進してきました。

こうした中、全ての団塊世代が75歳以上の高齢者となる2025年以降の超高齢化時代を見据えると、保健・医療・介護・福祉体制の充実はもとより、地域における生活機能の確保や提供なども課題になると考えられます。このため、県では、「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」において、これまでの包括ケアシステムの取組に、買い物、食事、住まい、移動などといった生活機能や地域づくりの視点を加え、県民の誰もが地域で安心して老後を迎えることのできる「青森県型地域共生社会」の実現を今後重視していく取組の方向性に位置づけ、全庁一丸となって各種取組を積極的に展開しているところです。

このたび、「青森県型地域共生社会」の実現に向けて、高齢者福祉及び介護保険分野における施策の基本方針として、「あおり高齢者すこやか自立プラン2021」を策定しました。今後は、本プランにより、「高齢者が人生の最期まで自分らしく、生きがいを感じながら、住み慣れた地域で安んじて暮らせる青森県」を基本理念としながら、「地域の支え合いで高齢者の元気と笑顔があふれる青森県」、「介護や医療が必要となった高齢者に寄り添い続ける青森県」、「活気に満ちた介護現場を創造し、介護保険制度への信頼を守り続ける青森県」の3つの基本目標を掲げ、本県の目指す姿の実現に向けて取組を推進していきます。

結びに、プラン策定に当たり、御尽力を賜りましたあおり高齢者すこやか自立プラン推進協議会の委員の皆様をはじめ、貴重な御意見、御提言をお寄せいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

令和3年3月

青森県知事 三村申吾